

公立病院改革プランの取り組み



近年、多くの公立病院において、経営状況の悪化と医師不足により、経営環境や医療提供体制の維持が極めて厳しい状況になっています。

中津川市民病院も同様に厳しい状況ですが、総務省の指針に従い平成21年度～23年度の3年間を実行期間として改革に取り組んでいます。

◆平成21年度改革プラン目標値との比較です。(決算統計より)

- 医業収益は、61億8,100万円で目標値に2億4,700万円達しませんでした。
- 医業費用は、67億6,500万円で目標値を1億1,500万円削減する事ができました。
- 経常損益は、-6億0,200万円で目標値より9,900万円悪い結果となりました。

※平成21年度は、改革プラン目標値を達成できない年度となりました。

平成21年度	平成21年度		
	H21実績	H21目標値	差
医業収益	61億8,100万円	64億2,800万円	-2億4,700万円
入院収益	39億8,400万円	41億6,900万円	-1億8,500万円
外来収益	19億2,700万円	19億5,200万円	-2,500万円
他医業収益	2億7,000万円	3億0,700万円	-3,700万円
医業費用	67億6,500万円	68億8,000万円	-1億1,500万円
給与費	34億4,800万円	34億5,300万円	-500万円
材料費	13億8,600万円	15億1,200万円	-1億2,600万円
他医業費用	19億3,100万円	19億1,500万円	1,600万円
医業損益	-5億8,400万円	-4億5,200万円	-1億3,200万円
医業外収益	3億2,400万円	3億3,400万円	-1,000万円
医業外費用	3億4,200万円	3億8,500万円	-4,300万円
医業外損益	-1,800万円	-5,100万円	3,300万円
経常損益	-6億0,200万円	-5億0,300万円	-9,900万円
経常収支比率	91.5%	93.1%	-1.6%
給与比率	55.8%	53.7%	2.7%
材料比率	22.4%	23.5%	-1.1%
入院患者数	95,442人	101,178人	-5,736人
外来患者数	207,897人	210,613人	-2,716人

◆目標値を達成できなかった要因

平成21年度末に内科医師5名の退職が決定したため、平成21年11月から患者さまの受け入れを制限した事が要因と考えます。特に呼吸器内科、腎臓内科は、閉鎖することになるため新規入院患者さまの受入制限と入院患者さまの他病院への転院を行いました。

その結果、患者数は、目標値より大幅に減少し医業収益に影響しました。

入院患者数は、-5,736人

外来患者数は、-2,716人

◆平成22年度上半期実績と前年度との比較です。

- 内科医師5名が退職し、病棟の一部閉鎖、内科初診外来の休止など、厳しい状況下でスタートしました。縮小した診療科の収益（上半期見込み3億円）が減少することを予測し、収益確保と費用削減に向けた院内目標を定め取り組んできました。

平成22年度	対前年度比較（上半期）		
	H22実績	H21実績	差
医業収益	28億7,300万円	31億2,600万円	-2億5,300万円
入院収益	18億6,700万円	19億8,800万円	-1億1,300万円
外来収益	8億3,300万円	9億7,800万円	-1億4,500万円
他医業収益	1億7,300万円	1億6,000万円	1,300万円
医業費用	31億5,000万円	33億4,000万円	-1億9,000万円
給与費	16億1,200万円	16億4,500万円	-3,300万円
材料費	6億2,400万円	7億2,000万円	-9,500万円
他医業費用	9億1,400万円	9億7,500万円	-6,100万円
医業損益	-2億7,700万円	-2億1,400万円	-6,300万円
医業外収益	3億3,700万円	3億0,000万円	3,700万円
医業外費用	7,700万円	9,600万円	-1,900万円
医業外損益	2億6,000万円	2億0,400万円	5,600万円
経常損益	-1,700万円	-1,000万円	-700万円
経常収支比率	99.5%	99.7%	-0.2%
給与比率	56.1%	52.6%	3.5%
材料比率	21.7%	23.1%	-1.4%
入院患者数	42,942人	48,165人	-5,223
外来患者数	91,311人	105,744人	-14,433

◆上半期（病院経営概況より）

医業収益は、28億7,300万円で前年度より、2億5,300万円減少しましたが、予測した収益より約5,000万円改善できたことと経費節減により医業費用が1億9,000万円削減できたことなどにより、経常損益が前年度より700万円少ない結果にとどまりました。

経常収支比率＝経常収益÷経常費用×100

給与比率＝給与費÷医業収益×100

材料比率＝材料費÷医業収益×100

医師確保対策が実り、10月に3名の常勤医師（外科、循環器内科、小児科）が増えました。厳しい状況は、変わりませんが、下半期も職員一同全力で経営改善に取り組んでまいります。

問 市民病院総務人事課（☎66-1251）